

筑波大学体育センター集中授業  
「ウィンドサーフィン」に関する授業報告  
—コロナ禍における宿泊を伴う実習の実施方法の検討—

仲澤翔大<sup>1)</sup>, 堀口 文<sup>1)</sup>, 金谷麻理子<sup>1)</sup>, 吹田真士<sup>1)</sup>,  
柵木聖也<sup>2)</sup>, 吉松 梓<sup>3)</sup>, 鍋倉賢治<sup>1)</sup>

Report about the University of Tsukuba sports and physical  
education intensive class “Windsurfing”  
-A Study on the Implementation Method of Overnight  
Practice in the coronavirus pandemic-

Shota NAKAZAWA<sup>1)</sup>, Aya HORIGUCHI<sup>1)</sup>, Mariko KANAYA<sup>1)</sup>, Masashi SUITA<sup>1)</sup>,  
Seiya MASEGI<sup>2)</sup>, Azusa YOSHIMATSU<sup>3)</sup>, Yoshiharu NABEKURA<sup>1)</sup>

1. はじめに

筑波大学では「健やかな身体, 豊かな心, 逞しい精神」の育成を目指し, 筑波体育が開講されている。筑波体育には, 通常1年生を対象とした「基礎体育」, 2年生を対象とした「応用体育」, 3年生を対象とした「発展体育」が存在する。これらの授業は, 1年間を通じた通年授業として開講されている。これらに加えて, 筑波大学の一般体育では, 多岐にわたる集中授業が開講されており, その中の1つに「ウィンドサーフィン」がある。筑波大学体育センター

では1977年以来, 45年近くにわたりウィンドサーフィンを開講しており(永木ほか, 1986, p.36), 約15年前と約3年前にも筑波大学のウィンドサーフィンの集中授業に関する報告がなされている(津田ほか, 2009; 堀口ほか, 2019)。これまで筑波大学のウィンドサーフィンの集中授業では, 2019年以前は宿泊をせずに5日間の日程で開講されてきたが(津田ほか, 2009, p.20), 2019年より受講生が大学から実習場所までを往復する時間の削減と, それによる体力的な負担を軽減させるため, 3泊4日の宿泊実習の形態となった(堀口ほか, 2019, p.91)。

---

1) 筑波大学体育系

Faculty of Health and Sport Sciences, University of Tsukuba

2) 合同会社マックスパフォーマンス

Maxx Performance LLC.

3) 明治大学経営学部公共経営学科

Department of Public Management, School of Business Administration, Meiji University

しかし、新型コロナウイルス感染症の流行を受け、2020年は中止、2021年は宿泊をせずに4日間の日程で行っており、2022年は3年ぶりの宿泊実習となった。

そこで本報告では、2022年度の実習内容と受講生の技術習得の様子に加えて、2021年度の実習と比較し、宿泊実習に戻ったことによる効果と今後の課題を報告する。

## 2. 授業概要

### (1) 目的

筑波大学体育センターが開講している集中授業「ウィンドサーフィン」の目的は以下の3つである。

- ①ウィンドサーフィンの基礎的な技術と知識を習得し、自然環境の中での危険性、安全配慮の認識を深める。
- ②未経験の身体運動の習熟過程で、身体に対す

る認識を深める。

- ③生涯にわたってウィンドサーフィンに親しむ態度や可能性を模索する。

### (2) 実習の日程及び実習場所

実習は、2022年8月23日(火)～26日(金)の3泊4日の日程で実施した(表1)。

宿泊実習の前日である22日(月)には、事前講習としてウィンドサーフィンの理論や実習の心構えに関する講義を実施した。

実習は、霞ヶ浦の大山湖畔で実施され、稲敷市にある「I旅館」に宿泊した。

### (3) 受講生

ウィンドサーフィンを受講するためには、学内で行われるオリエンテーションに参加する必要がある。これは、授業に参加できる学生数に限りがあるためであり、ウィンドサーフィンは

表1 2022年度ウィンドサーフィン日程表

| 日程    | 事前講習                                  | 1日目               | 2日目                | 3日目                | 4日目                 |
|-------|---------------------------------------|-------------------|--------------------|--------------------|---------------------|
|       | 8月22日                                 | 8月23日             | 8月24日              | 8月25日              | 8月26日               |
| 実習場所  | 筑波大学                                  | 大山湖岸              | 大山湖岸               | 大山湖岸               | 大山湖岸                |
| 集合    | 体育センター                                | 飯野屋旅館             |                    |                    |                     |
| 7:00  |                                       |                   | 朝食                 | 朝食                 | 朝食                  |
| 8:00  |                                       | 荷物積載(教員のみ)        | 出発                 | 出発                 | 清掃/片付け<br>チェックアウト   |
| 9:00  |                                       |                   | 大山着、設営<br>W-up、陸トレ | 大山着、設営<br>W-up、陸トレ | 出発                  |
| 10:00 | <事前講習><br>・ウィンドの理論<br>・実習の心構え<br>・その他 | 10:15集合→出発準備      | 水上練習               | 水上練習               | 大山着、設営<br>W-up、陸トレ  |
| 11:00 |                                       | 大山着、設営<br>ビーチクリーン |                    |                    | 水上練習<br>レース         |
| 12:00 |                                       | バドリング練習           | 12:30終了            | 12:30終了            | 12:00終了             |
| 13:00 |                                       | 昼食(屋外)            | 昼食(屋外)             | 昼食(屋外)             | 昼食(飯野屋)             |
| 14:00 |                                       | 離装<br>W-up、陸トレ    | W-up、陸トレ           | W-up、陸トレ           | 閉校式<br>解散           |
| 15:00 |                                       | 水上練習              | 水上練習               | 水上練習               | 大学着                 |
| 16:00 |                                       | 16:30終了           | 16:30終了            | 16:30終了            | 道具の清掃・片付け<br>(教員ほか) |
| 17:00 |                                       | 解装、片づけ後移動         | 解装、片づけ後移動          | 解装、片づけ後移動          |                     |
| 18:00 |                                       | 宿泊地着<br>チェックイン    | 宿泊地着               | 宿泊地着               |                     |
| 19:00 |                                       | 夕食                | 夕食                 | 夕食                 |                     |
| 20:00 |                                       | 講義①               | 講義②                | 体験発表(受講生)          |                     |
| 21:00 |                                       |                   |                    |                    |                     |
| 22:00 |                                       | 消灯                | 消灯                 | 消灯                 |                     |

※1 W-up:ウォーミング・アップ

※2 陸トレ:陸上トレーニング

15名定員で、うち9名が必修単位の受講生、4名が自由単位の受講生、2名が大学院共通科目の受講生の枠として割り当てられている（ただし、必修単位の受講生が10名未満の場合は自由単位の学生数に割り当てられる）。

本年度は19名の学生が受講を希望してオリエンテーションに参加し、抽選を実施した結果、4名が必修単位、11名が自由単位（うち10名が大学院生）として受講することが決定した。しかし、必修単位の学生1名が前日にキャンセルしたため、14名での実習となった。受講生は事前に健康診断と泳力チェックを受けることが例年受講の条件となっている（堀口ほか、2019, p.93）。これらに加えて、本年度は事前のPCR検査での陰性証明も条件に加えることとなった（新型コロナウイルス感染症への感染予防対策については、後ほど詳細を述べる）。身長順で実習班を分け、ひと班2名ないし3名で5班に分かれ、各班に指導教員がついて実習を行った。

#### (4) 実習内容

宿泊実習の前日に事前講習を行った。そこで、艀装に必要なロープワークやウィンドサーフィンの理論、実習の心構え、道具の各部の名称などの講義を実施した。翌日、受講生は宿泊先である稲敷市・I旅館に現地集合し、開講式を行った後、大山湖畔へ向かった。大山湖畔到着後は、ビーチクリーンを実施し、その後はレスキュー艇となるスタンドアップパドルボードのパドリング練習を行った。昼食を挟み、午後は事前に身長順で編成してあった班に分かれて実習艇を艀装し（写真1）、「セイル・アップ」や「方向転換」、「ファイブステップ」の基礎技術について陸上でトレーニングした後、1回10分の水上演習を3セット実施した。

この日は、風や波ともに穏やかで、初日にもかかわらず多くの受講生がボードを快調に走らせることができた（写真2）。

水上実習後は、班ごとに解装などの片付けを

行い、宿泊先の飯野屋旅館へ戻った。チェックイン後、夕食をとり、夕食後には1日目、2日目ともにウィンドサーフィンの歴史や競技的側面、また野外活動の意義やリスクマネジメントについて、1時間程度の講義を実施した（写真3）。

2日目・3日目は、初日に行った陸上トレーニングで動きの復習を実施し、午前・午後ともに1回15分の水上演習を3セットずつ行った。2日目は初日から一変して天候が荒れ、風・波とも非常に強い厳しい環境となり、受講生は「セイル・アップ」もままならない状況であった（写真4）。

しかし、そのような環境下でも、受講生たちは励まし合いながら、懸命に挑戦し続けている様子が見受けられた。3日目は、再び天候が一変し、波・風とも非常に穏やかな1日となった。



写真1 艀装の様子



写真2 ボードを走らせる受講生



写真3 講義の様子



写真5 余裕が出てきた様子の受講生



写真4 2日目の悪天候に苦戦する受講生

受講生は、前日の過酷な環境下での試行錯誤が実を結び、初日と比べて格段に上達している様子で、「アビーム」方向であればほとんどの受講生がボードを走らせることができていた（写真5）。

さらには「ラフ」や「ベア」の技術を使いながら「クローズド・ホールド」や「クォーター」に挑戦する受講生も見受けられた。また、3日目になると用具の扱いにも慣れ、受講生のみで機装や解装を行うことができるようになった。

3日目の夜は、これまでの3日間の実習について班ごとに自由に発表する「発表会」を実施したが、各班とも趣向をこらした興味深い発表を行っており、受講生にとって有意義な実習となっている様子が伺えた。

4日目は、午前中のみの実習であった。最終

日であるため、班対抗のレースを予定していた。しかしながら、水上練習中に落雷が確認されたため、受講生の安全を考慮して中断し、水上での実習は終了となった。その後、I旅館にて昼食をとった後、閉講式を行い、実習の全日程を終了した。

#### (5) 新型コロナウイルス感染症への感染予防対策について

本実習は、新型コロナウイルス感染症の流行が続く中、開講された。そのため、様々な感染予防対策を実施した上での実習となった。

実習前の対応として、実習先へウイルスを持ち込まないことが重要であると考え、実習への参加に際して、実習開始2週間前からの体調管理を求め、実習前日の事前講習時に健康観察記録表を提出させた（表2）。

健康観察記録表に加えて、PCR検査による陰性証明も提示させ、この2点の提出をウィンドサーフィン受講の必須条件とし、実習へ出発する段階ではウイルスを保持している可能性が低いことを確認した。PCR検査に関しては、教員、TAも全員が検査して陰性証明を得ることとし、実習直前である前週後半に検査させることとし、つくば市が実施している無料PCR検査について、受講生にアナウンスして受検を勧めた。そして、実習先で体調不良者が出て医療機関を受診するケースに備えて、近隣の医療

機関をリストアップするとともに、受講生のワクチン接種状況についての情報を収集した。その情報については、個人情報保護の観点から緊急時のみ教員だけが把握できることとした。

また、実習中の対応として、万が一感染者が発生した事態を想定し、できるだけ濃厚接触者

を少なくするための対応に努めた。その観点から、部屋割りや食事の席順を班ごととし、可能な限り班員以外と濃厚接触をしないよう努めた。また、屋外での実習時や食事中を除きマスク着用を求めた。そして、各部屋と食堂に手指消毒用のアルコールを設置することで感染リス

表2 健康観察記録表

筑波大学

健康観察記録表

|    |        |
|----|--------|
| 氏名 | 平熱 . 度 |
|----|--------|

- 1 毎朝、起床時と夕方検温し、下の表に記録してください。
- 2 その他、風邪の症状の有無（有りの場合は具体的症状）に○をつけてください。

| 日付 | 曜 | 朝の体温   | 夕方の体温  | 風邪症状  | 備考 |
|----|---|--|--|---|----|
| 例  | 月 | <input type="checkbox"/> 平熱<br><input type="checkbox"/> 発熱症状あり | <input type="checkbox"/> 平熱<br><input type="checkbox"/> 発熱症状あり | <input checked="" type="radio"/> 無・有（咳・鼻水・くしゃみ・咽頭痛・倦怠感・呼吸困難感） |    |
| 月  | 日 | <input type="checkbox"/> 平熱<br><input type="checkbox"/> 発熱症状あり | <input type="checkbox"/> 平熱<br><input type="checkbox"/> 発熱症状あり | 無・有（咳・鼻水・くしゃみ・咽頭痛・倦怠感・呼吸困難感）                                  |    |
| 月  | 日 | <input type="checkbox"/> 平熱<br><input type="checkbox"/> 発熱症状あり | <input type="checkbox"/> 平熱<br><input type="checkbox"/> 発熱症状あり | 無・有（咳・鼻水・くしゃみ・咽頭痛・倦怠感・呼吸困難感）                                  |    |
| 月  | 日 | <input type="checkbox"/> 平熱<br><input type="checkbox"/> 発熱症状あり | <input type="checkbox"/> 平熱<br><input type="checkbox"/> 発熱症状あり | 無・有（咳・鼻水・くしゃみ・咽頭痛・倦怠感・呼吸困難感）                                  |    |
| 月  | 日 | <input type="checkbox"/> 平熱<br><input type="checkbox"/> 発熱症状あり | <input type="checkbox"/> 平熱<br><input type="checkbox"/> 発熱症状あり | 無・有（咳・鼻水・くしゃみ・咽頭痛・倦怠感・呼吸困難感）                                  |    |
| 月  | 日 | <input type="checkbox"/> 平熱<br><input type="checkbox"/> 発熱症状あり | <input type="checkbox"/> 平熱<br><input type="checkbox"/> 発熱症状あり | 無・有（咳・鼻水・くしゃみ・咽頭痛・倦怠感・呼吸困難感）                                  |    |
| 月  | 日 | <input type="checkbox"/> 平熱<br><input type="checkbox"/> 発熱症状あり | <input type="checkbox"/> 平熱<br><input type="checkbox"/> 発熱症状あり | 無・有（咳・鼻水・くしゃみ・咽頭痛・倦怠感・呼吸困難感）                                  |    |
| 月  | 日 | <input type="checkbox"/> 平熱<br><input type="checkbox"/> 発熱症状あり | <input type="checkbox"/> 平熱<br><input type="checkbox"/> 発熱症状あり | 無・有（咳・鼻水・くしゃみ・咽頭痛・倦怠感・呼吸困難感）                                  |    |
| 月  | 日 | <input type="checkbox"/> 平熱<br><input type="checkbox"/> 発熱症状あり | <input type="checkbox"/> 平熱<br><input type="checkbox"/> 発熱症状あり | 無・有（咳・鼻水・くしゃみ・咽頭痛・倦怠感・呼吸困難感）                                  |    |
| 月  | 日 | <input type="checkbox"/> 平熱<br><input type="checkbox"/> 発熱症状あり | <input type="checkbox"/> 平熱<br><input type="checkbox"/> 発熱症状あり | 無・有（咳・鼻水・くしゃみ・咽頭痛・倦怠感・呼吸困難感）                                  |    |
| 月  | 日 | <input type="checkbox"/> 平熱<br><input type="checkbox"/> 発熱症状あり | <input type="checkbox"/> 平熱<br><input type="checkbox"/> 発熱症状あり | 無・有（咳・鼻水・くしゃみ・咽頭痛・倦怠感・呼吸困難感）                                  |    |
| 月  | 日 | <input type="checkbox"/> 平熱<br><input type="checkbox"/> 発熱症状あり | <input type="checkbox"/> 平熱<br><input type="checkbox"/> 発熱症状あり | 無・有（咳・鼻水・くしゃみ・咽頭痛・倦怠感・呼吸困難感）                                  |    |
| 月  | 日 | <input type="checkbox"/> 平熱<br><input type="checkbox"/> 発熱症状あり | <input type="checkbox"/> 平熱<br><input type="checkbox"/> 発熱症状あり | 無・有（咳・鼻水・くしゃみ・咽頭痛・倦怠感・呼吸困難感）                                  |    |
| 月  | 日 | <input type="checkbox"/> 平熱<br><input type="checkbox"/> 発熱症状あり | <input type="checkbox"/> 平熱<br><input type="checkbox"/> 発熱症状あり | 無・有（咳・鼻水・くしゃみ・咽頭痛・倦怠感・呼吸困難感）                                  |    |
| 月  | 日 | <input type="checkbox"/> 平熱<br><input type="checkbox"/> 発熱症状あり | <input type="checkbox"/> 平熱<br><input type="checkbox"/> 発熱症状あり | 無・有（咳・鼻水・くしゃみ・咽頭痛・倦怠感・呼吸困難感）                                  |    |

クの減少に努めた。

その結果、実習中の体調不良者は認められず、実習終了後も体調不良の報告はなかった。これらのことから、本実習で実施した新型コロナウイルス感染症への感染予防対策は一定の成果があったことが推測され、今後宿泊を伴う実習を実施するにあたり、参考になり得るだろう。

### 3. 2021年度との比較

#### (1) 実習時間・内容について

表3は2021年度に実施した宿泊を伴わずに実施したウィンドサーフィン実習の日程表である。

今年度(表1)と比較すると、実習時間についてはほぼ同様の時間となっているが、実習内容について、夜に講義を実施していることが大きな違いとして挙げられる。1日目は「ウィン

ドサーフィンの歴史と競技的側面」について、2日目は「野外活動の意義とリスクマネジメント」について1時間ほどの講義を実施し、受講生はウィンドサーフィンや野外活動について「実技」のみでなく「知識」を習得することができた。

実習後に受講生が提出した事後レポート見ても、1日目の講義内容をうけて「将来はフランスのアマチュアレースに出場することを目標にしたい」との記述や、最終日の雷について「私たちは自然に歯向かうことはできず、自然の気分に身を任すしかない」と2日目の野外活動に関する講義に紐づいた記述などが見受けられ、受講生にとって講義が有意義な学びとなったことが伺える。

表3 2021年度ウィンドサーフィン日程表

| 日程    | 事前講習                | 1日目              | 2日目        | 3日目        | 4日目        |
|-------|---------------------|------------------|------------|------------|------------|
|       | 8月27日               | 8月30日            | 8月31日      | 9月1日       | 9月2日       |
| 実習場所  | 筑波大学                | ラクスマリーナ          | ラクスマリーナ    | ラクスマリーナ    | ラクス/大学     |
| 集合    | 体育センター              | ラクスマリーナ          | ラクスマリーナ    | ラクスマリーナ    | ラクスマリーナ    |
| 9:00  |                     | 抗原検査<br>→結果写真の送信 |            |            |            |
|       |                     | 開講式(9時開始)        | 全体ミーティング   | 全体ミーティング   | 全体ミーティング   |
| 10:00 | ・ウインドの理論<br>・実習の心構え | 艦装(セッティング)       | 艦装(セッティング) | 艦装(セッティング) | 艦装(セッティング) |
|       |                     | W-up、陸トレ         | W-up、陸トレ   | W-up、陸トレ   | W-up、陸トレ   |
| 11:00 | ・抗原検査<br>・コロナ感染症対策  | パドリング練習          | 水上練習       | 水上練習       | 水上練習       |
|       |                     |                  |            |            | 軽食タイム      |
| 12:00 |                     | 昼食               |            |            | レース        |
| 13:00 |                     | W-up、陸トレ         | 昼食         | 昼食         | 12:30終了    |
|       |                     | 水上練習             | W-up、陸トレ   | W-up、陸トレ   | 解装         |
| 14:00 |                     |                  | 水上練習       | 水上練習       | 道具の清掃      |
|       |                     | 15:30終了          | 15:30終了    | 15:30終了    | 閉校式        |
| 15:00 |                     | 解装               | 解装         | 解装         |            |
|       |                     | 班別ミーティング         | 班別ミーティング   | 班別ミーティング   | 解散、大学へ移動   |
| 16:00 |                     | 全体ミーティング         | 全体ミーティング   | 全体ミーティング   | 荷下ろし※3     |
|       |                     | 解散               | 解散         | 解散         |            |
| 17:00 |                     |                  |            |            |            |

※1W-up: ウォーミング・アップ

※2陸トレ: 陸上トレーニング

※3: 可能な学生

## (2) 受講生同士や教員とのコミュニケーションについて

宿泊実習となったことで、受講生同士や受講生と教員の間でコミュニケーションをとる機会が格段に増加したと考えられる。感染対策に努めながら、夕食の時間や就寝前の時間に班員以外の受講生と積極的に会話し、コミュニケーションを楽しんでいる様子が見受けられ、宿泊実習でのコミュニケーションの増加については以前も報告されているが（堀口ほか，2019，p.96），その教育効果を再確認することができた。受講生の事後レポートについて，2021年と2022年を比較すると，2021年には受講生同士や教員との親睦についての記述は全く見受けられないのに対して，2022年は受講生14人のうち12人が記述しており，「たくさんの友人や先生方とも仲を深めることができ，非常に有意義で幸せな4日間だった。」「今回出会った仲間とは応援し合い，助け合い，途中でようやく名前を知り，空いた時間にたわいもない話をし，合宿ならではの楽しみを分かち合うことができた」など，受講生や教員とのコミュニケーションを楽しんだ様子が伺える。このことから，本実習を通して確かな友情や信頼関係が育まれたことは明らかであり，宿泊実習を実施する意義を改めて確認することができた。

### 4. 実習の感想

集中授業終了後，実習の感想を課題として事後レポートを課した。以下に，各項目に関する学生の感想の一例を紹介する。

#### ○ウィンドサーフィンの魅力について

「どのように体で風を感じて，波を感じて，自然を感じるかが面白かった。」

「ウィンドサーフィンという全く触れたことのない，進む原理すらイメージできなかったものを，ある程度乗りこなせるようになり，とても貴重な経験ができた。」

「今までやったことのあるスポーツでは得られ

ない，そのスポーツならではの感覚を体験することは言うまでもないが，そのスポーツをやるためにどういった筋肉を使えばよいのか，なるべく力に頼らないためにはどういった体勢を取るべきかなど，人体の構造的な部分についても考えるきっかけになった。」

#### ○実習を通して学んだこと

「『全然できないことができるようになる』という感覚を最も感じることができた。」

「体育活動をするとき，先に体を慣れさせることが一番重要だと学んだ。」

「野外活動の魅力や人間と自然の関係をより深く理解することができた。」

「たくさんの友人や先生方とも仲を深めることができ，非常に有意義で幸せな4日間だった。」

「新たにいろいろな人たちと出会うことができ，仲良くなったウィンドサーフィンの体験は，今後の私の人生の良い肥料になることは間違いない」

#### ○講義について

「(1日目の講義を通じて) スピードを競うだけでなく技を競い合う分野があったり，反対にどれだけスピードが出せるのかを競い合ったりと，同じスポーツがこんな多種の分野に変化していくのだと歴史的な背景にも触れることができた。」

「(1日目の講義を通じて) 将来はフランスのアマチュアレースに出場することを目標にした。」

「(2日目の講義を通じて) 私たちは自然に歯向かうことはできず，自然の気分身を任すしかないと感じた。」

#### ○宿泊実習について

「今回出会った仲間とは応援し合い，助け合い，途中でようやく名前を知り，空いた時間にたわいもない話をし，合宿ならではの楽しみを分かち合うことができた。」

「朝から夕方まで一緒に授業に取り組み、夜は宿で共に過ごし、4日間という期間は決して長くないが、別れ際が少し惜しいほどの仲になるには十分な時間であった。」

## 5. まとめ

2021年：宿泊を伴わない実習と2022年：宿泊実習について、受講生の事後レポートを比較した結果、宿泊実習によって教育効果が向上していることが明らかになった。主な効果として、講義によってウィンドサーフィンや野外活動に関する「知識」を学び、それらについて考えるきっかけとなったこと、そして受講生同士や教員とのコミュニケーションの機会が増大し、確かな友情や信頼関係を築くことができたことである。本実習を通して、ウィンドサーフィンの技術の向上に勤しむ過程で、仲間と励まし合いながら、共に挑戦し続け、確かな人間関係を育んでいたことが印象的であった。今後の課題として、受講生の技能上達について明らかにすることが挙げられる。受講生の技能上達について客観的に評価しながら、宿泊実習の意義

を検討する必要があると考えられる。今後も、ウィンドサーフィンの授業が学生にとって多くの学びある授業であることを信じて、本報告を終えることとする。

## 文献リスト

- 堀口 文・酒井 紳・金谷麻理子・吹田真士・柵木聖也・吉松 梓・鍋倉賢治, 筑波大学体育センター集中授業「ウィンドサーフィン」の授業報告. 大学体育研究, 41, 91-98, 2019.
- 永木耕介・遠藤卓郎・外川重信・松井敦典・坂東隆男・森岡理右, 正課体育ウィンドサーフィン授業の指導法に関する研究—プレセイリングにおける失敗の検討—. 大学体育研究, 8, 35-44, 1986.
- 津田龍佑・吉岡利貢・小田 梓・遠藤卓郎・金谷麻理子・吹田真士・柵木聖也・鍋倉賢治, 集中実技「ウィンドサーフィン」の授業概要とその成果. 大学体育研究, 31, 19-24, 2009.